

令和6年第7回（12月）上越市議会定例会 一般質問 通告一覧

日	順番	質問予定者氏名	ページ番号
12月11日（水）	1	橋 本 洋 一	2 ページ
	2	高 橋 浩 輔	3 ページ
	3	江 口 修 一	4 ページ
	4	ストラットン恵美子	5 ページ
	5	こ ん ど う 彰 治	6 ページ
	6	飯 塚 義 隆	7 ページ
	7	大 島 美 香	8 ページ
12月12日（木）	8	石 田 裕 一	9 ページ
	9	熊 倉 隆 将	10 ページ
	10	西 沢 智 子	11 ページ
	11	山 田 忠 晴	12 ページ
	12	関 川 信 之	13 ページ
	13	宮 崎 朋 子	14 ページ
	14	降 旗 太 地	15 ページ
12月13日（金）	15	山 本 佳 洋	16 ページ
	16	滝 沢 一 成	17 ページ
	17	安 田 佳 世	18 ページ
	18	上 野 公 悦	19 ページ
	19	本 城 文 夫	20 ページ
	20	丸 山 章	21 ページ
12月16日（月）	21	高 山 ゆ う 子	24 ページ
	22	伊 崎 博 幸	25 ページ
	23	平 良 木 哲 也	26 ページ
	24	橋 爪 法 一	28 ページ
	25	宮 越 馨	29 ページ

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月26日

次のとおり通告します。

議 員 橋 本 洋 一

発 言 の 種 別	質 疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span>	緊 急 質 問	討 論 (賛 成 ・ 反 対)
項 目 ・ 要 旨			答 弁 者
<b>1 市政運営3年間の総括と今後の取組について</b>			市 長
(1) 中川市政3年間の総括と今後重点的に取り組む項目について聞きたい。また、財源の裏付けを含め、新年度予算への反映についてはどう考えているか。			
<b>2 災害発生時の安否不明者の氏名等の公表について</b>			市 長
(1) 県が災害発生時の安否不明者や死亡者の氏名等に関する公表方針を発表したが、当市の対応はどうか。			
<b>3 警察統計と市民安全施策の推進について</b>			市 長
(1) 交通事故や犯罪の発生状況については、中郷区を除いた数字が「上越警察署管内の発生状況」として公表されているが、市民安全施策の推進に関して市民への混乱や誤解等はないか。			
<b>4 高齢者の交通事故防止について</b>			市 長
(1) 当市の高齢運転者（運転免許保有者）の実態はどうか。また、運転免許証の返納支援など、高齢者の交通事故防止施策の取組状況について聞きたい。			
<b>5 単身高齢者の孤立化防止対策について</b>			市 長
(1) 当市の高齢者の実態と孤立化防止対策について聞きたい。			



# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月26日

次のとおり通告します。

議員 江口 修一

発言の種別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
<p><b>1 上越市のDX化について</b></p> <p>(1) 第7次上越市行政改革推進計画では「人づくり」「組織づくり」「健全財政の維持」を3つの基本方針とし推進するとしているが、DXの活用による「業務執行方法の改善」について進捗状況を聞きたい。</p> <p>(2) 民間企業の専門家をDX推進官として活用した業務の効率化に向けた取組について聞きたい。</p> <p>(3) 市では、令和6年度から職員向けの生成AIの本運用を開始したが、今後どのように活用していくのか聞きたい。</p>					市長
<p><b>2 通年観光計画の現状等について</b></p> <p>(1) 具体的な事業効果や経済効果、投資の回収見込みはどうか。</p> <p>(2) 観光客数の1.3倍という目標の達成可能性をどう考えているか。</p> <p>(3) 計画の成功には、市民や地元事業者の協力が不可欠だが、十分な説明がなされたと考えているか。また、合意形成はどの程度進んでいるのか。</p> <p>(4) 春日山地域の観光拠点施設について、維持管理経費なども含め、将来的な見通しを聞きたい。あわせて、持続的な運営や維持管理の体制構築が重要と考えるがどうか。</p>					市長
<p><b>3 市政運営における施策の優先順位について</b></p> <p>(1) 市長は通年観光の推進に取り組んでおり、観光の推進が重要なのは理解するが、通年観光計画の総事業費は49億円とされており、多額な投資が市の財政や他の重要施策の推進に影響があると考え。例えば、産業振興や企業誘致など、他に優先順位が高い施策があると考え、他の施策とのバランスを重視した方がよいのではないか。</p>					市長

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月26日

次のとおり通告します。

議 員 ストラットン恵美子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論 (賛成・反対)	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
<p><b>1 人と動物の共生社会について</b></p> <p>(1) 動物に関わる諸課題について、庁内関係課や新潟県動物管理センター、民間の愛護団体間の協力関係を明確化するため、環境基本計画に動物愛護に関する体制について記載する考えはないか。</p> <p>(2) ペットと共に暮らしやすい「ペットフレンドリーな街づくり」や、ペットを連れて観光を楽しめる「ペットツーリズム」を推進することは、地域経済の活性化にもつながると思われるが、市として積極的に取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 廃止となった市の施設や廃校を活用し、市民が訪れやすく、災害時にはペットの避難所にもなり、民間の動物愛護団体も利用可能な共有スペースを併設した動物保護管理センターを県と連携して設置することはできないか。</p> <p>(4) 地域猫の問題や多頭飼育崩壊などの諸課題を解決するため、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用して猫の不妊去勢手術費助成事業を実施する考えはないか。</p>					市 長
<p><b>2 人生100年時代における高齢者の生きがいづくりについて</b></p> <p>(1) 高齢者の生きがいづくりや地域活性化のため、单身もしくは夫婦の高齢者が住む持家を活用して、血縁関係のない若者と高齢者が共同生活を送る「異世代ホームシェア」の取組を進める考えはないか。</p> <p>(2) 地域住民の見守りや高齢者の社会参画を促す働きなどを通じ、地域全体の支え合いを目指す「コミュニティナース」について、事業所などと連携して推進する考えはあるか。</p> <p>(3) 市民一人ひとりが認知症に対して偏見を持たず、認知症と向き合い、予防と備えに取り組む姿勢をさらに促進するため、認知症に関する条例を制定してはどうか。</p>					市 長
<p><b>3 姉妹・友好都市とのあり方について</b></p> <p>(1) オーストラリア・カウラ市との国際交流やダーウィン市との友好交流協議が進む中、当市における国際交流のあり方について聞きたい。</p> <p>(2) 国内の姉妹都市・友好都市との交流の現状を聞きたい。また、今後更に活性化していく必要があると考えるが、今後の展望を聞きたい。</p>					市 長

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月26日

次のとおり通告します。

議 員 **こんどう 彰治**

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論 (賛成・反対)	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
<p><b>1 市長公約等について</b></p> <p>(1) 子育て全国一を目指すとしているが、具体的な取組を聞きたい。また、現時点で全国一になっていないのだとすれば、その理由も聞きたい。</p> <p>(2) 保倉川放水路及び儀明川ダム早期完成を目指すとしているが、放水路については未だ事業化されておらず、ダムについては令和10年度以降の本体着手と聞く。市長は就任後、国や県に対し、早期完成に向けてどのような活動をしてきたのか。</p> <p>(3) 雪国文化の雁木町家や寺町の町並みを整備・保存するとしており、雁木については世界遺産の登録まで目指すと発言しているが、その後の進捗状況はどうか。また、火災に伴う雁木の焼失が続いているが、世界遺産への登録を目指すならば再建が求められる。市としてどう対応するつもりか。</p> <p>(4) 副市長4人制と政策諮問委員については、任期中の公約達成を断念したと報じられているが、断念した理由を聞きたい。報道によると、議会や市民に理解してもらえなかった、市政運営に大きな影響はないと説明しているが、市長自身が理解を得ようと積極的に努力したのか。また、市政運営に大きな影響がないとはどのような意味か。そもそも必要なかったということか。</p> <p>(5) 東京事務所の設置について、具体的な成果を聞きたい。</p>					市 長
<p><b>2 中学校部活動の地域移行に係る課題について</b></p> <p>(1) 中学校の運動部活動においては、指導者の質的、量的な問題があると考えますが、当市の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 令和8年度以降、平日の部活動も廃止される方向になった場合、地域クラブの指導者が不足することが考えられるが、市としてどのように対応する考えか。</p> <p>(3) 指導者に関する様々な課題に対応するため、クラブの指導を希望する教職員の勤務時間帯について、出勤退勤時間をそれぞれ1時間早くするなど柔軟に変更できるシステムを構築する考えはないか。</p> <p>(4) 今後、地域クラブが増えていくと思うが、活動場所の確保はどう考えているのか。</p>					教育長







# 発言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月27日

次のとおり通告します。

議員 石田 裕一

発言の種別	質疑 <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 <input type="checkbox"/> 緊急質問 <input type="checkbox"/> 討論（賛成・反対） <input type="checkbox"/>	
項目・要旨		答弁者
<b>1 郷人会について</b> (1) 当市では「東京浦川原会」のような故郷上越を想う団体が存在しているが、高齢化や役員のみで不足、次につなぐ世代の加入が少なく、解散が迫られている。郷人会の交流が続くように、市としても支援が必要と思うがどうか。		市長
<b>2 越後田舎体験事業について</b> (1) 越後田舎体験事業の事務局が、上越観光コンベンション協会となってから間もなく2年が経過するが、これまでの取組状況について聞きたい。また、この事業は交流人口の拡大も含め重要な事業と考えるが、市の考えを聞きたい。		市長

# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月27日

次のとおり通告します。

議員 熊倉隆将

発言の種別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項目・要旨					答弁者
<p><b>1 103万円の壁撤廃による当市への効果や影響について</b></p> <p>(1) 令和6年11月22日に閣議決定された総合経済対策の中で、103万円の壁については令和7年度の税制改正の中で議論し引き上げる方針が示された。仮に現行の103万円から178万円に引き上げられた場合、所得税の減少による地方交付税への影響をどの程度と見積もっているのか。また、個人市民税の税収減はどの程度となるのか。</p> <p>(2) 当市の税収減が見込まれる一方で、市民の可処分所得の増加が期待される。この両面を踏まえ、減税により恩恵を受けた層が、行政サービスを削減されるという懸念はないか。</p> <p>(3) 103万円の壁撤廃が、特に子育てに係る市長公約の実現に与える影響についてどう考えるか。</p>					市長
<p><b>2 3人目以降出生時における経済的負担の軽減について</b></p> <p>(1) 3人目以降の子どもが出生する世帯に対し、現行の出産・子育て応援ギフトの時期に合わせて、手当の支給を検討できないか。</p>					市長
<p><b>3 民生委員の処遇改善について</b></p> <p>(1) 民生委員のなり手不足の解消のため、以下の方法で処遇改善できないか。</p> <p>ア 報償費の増額</p> <p>イ 配置人数の再調整による割り振りの最適化</p>					市長

## 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月27日

次のとおり通告します。

議 員 西 沢 智 子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論 (賛成・反対)
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
<p><b>1 小児インフルエンザワクチン接種の助成について</b>                      (1) 小児インフルエンザワクチン接種は、13歳未満までは2回接種しなければならず費用の負担が大きい。また、子育て世代から負担軽減の要望も多いことから、小児インフルエンザワクチン接種の費用を助成する考えはあるか。</p> <p><b>2 5歳児健診について</b>                      (1) 国が示している「5歳児健診」について、こどもたちのすこやかな成長発達を支援していくために市として実施する考えはないか。</p>				<p>市 長</p> <p>市 長</p>

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月27日

次のとおり通告します。

議 員 山 田 忠 晴

発 言 の 種 別	質 疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span>	緊 急 質 問	討 論 (賛 成 ・ 反 対)
項 目 ・ 要 旨			答 弁 者
<p><b>1 災害や停電時における「医療的ケア児・者」への給電ボランティアについて</b>                      (1) 人工呼吸器による呼吸管理や、経管栄養、たんの吸引、導尿など、医療的ケアを日常的に必要とする人たちのことを「医療的ケア児・者」と言う。防災において自助の精神は欠かせないが、地域の中で支え合いながら避難行動ができる取組が大切だと考える。家族だけでは、停電時に生命を守れない場合もあることから、社会福祉協議会等と連携し、医療機器が使用できるようにEV・ハイブリッド車等から給電するボランティア活動を推進する考えはないか。</p> <p><b>2 林業促進に向けた高性能機械導入の支援について</b>                      (1) 当市の林業の持続的な発展に向け、林業経営者や今後、林業への従事を考えている方に伐倒・枝払い・玉切り・集積が可能な高性能機械の導入への支援は効果的であると考えているがどうか。</p> <p><b>3 姉妹・友好都市「浦項（ポハン）市」との人的交流について</b>                      (1) 上越市の発足25周年記念式典において、韓国の浦項市、中国の琿春（コンシユン）市と積み重ねてきた人的、経済的な交流実績をもとに「国際経済・文化交流共同宣言」の調印を行い、3都市間でのトライアングル友好交流を進めている。以前、韓国の浦項市とは人的交流等を行っていたと聞くが、再開する予定はあるか。</p>			<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>



# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月27日

次のとおり通告します。

議員 宮崎 朋子

発言の種別	質疑 <input checked="" type="checkbox"/> 一般質問 <input type="checkbox"/> 緊急質問 <input type="checkbox"/> 討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨		答 弁 者
<p><b>1 近年深刻化する鳥獣被害の対策について</b></p> <p>(1) 国は、令和6年4月にクマ類（四国を除く）を新たに指定管理鳥獣に加えたが、これにより市の被害防止対策はどのようなことが拡充され、その効果はどうか。また、その内容等を市民や住民にしっかり周知しているか。</p> <p>(2) 市ではこれまで鳥獣被害対策として、緩衝帯を設けるなどの取組をしてきたが、特にクマは重大な人身被害につながる可能性が高く、そのような対策だけでは難しい局面に来ているのではないかと考える。当市で実施している国の「クマ類の出没に対応する体制構築事業」の活用も含め、市民の安心安全に向けた今後の対策について聞きたい。</p> <p>(3) イノシシやクマの出没確認に関しては、人的な対応では限りがあると考え。また、出没確認をする市職員の危険性も懸念される。より一層デジタル技術等を駆使した効率的な監視の体制づくりが急務と考えるがどうか。</p> <p>(4) クマ出没の誘因となる放任果樹等の除去について、空き家の所有者や独居高齢者などへの周知徹底を望む。また、クマ出没が多い地域の放任果樹などの除去についても補助金制度の検討を望むがどうか。</p>		市 長
<p><b>2 防災・減災の更なる取組について</b></p> <p>(1) 地震対策として感震ブレイカーの必要性が高まっているが、当市の設置率やその必要性の周知は徹底されているか。特に高齢者は、ブレイカーを操作することさえも困難な方も多。まずは、消防署と連携して設置状況などの把握や、条件や期間等を限定した感震ブレイカー設置費用の補助制度創設の検討を望むがどうか。</p> <p>(2) 女性の視点は、日頃の防災・減災対策はもちろん、近年多発する震災の被災時や復興時に重要と考える。この推進のためには、女性が意見を言える場にいることが重要であると考え。それを推進するためには、当市の防災部局における積極的な女性職員の配置や防災会議における女性委員の増員などを望むが、市の現状と今後の方向性について聞きたい。</p>		市 長







# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月28日

次のとおり通告します。

議員 滝沢 一成

発言の種別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
<p><b>1 帯状疱疹ワクチンについて</b>                      (1) 帯状疱疹ワクチン接種への助成を行う考えはないか。</p>					市長
<p><b>2 市内の農村公園について</b>                      (1) 大島区の複数の農村公園において、遊具や砂場が使えないなどの状況にあるが、どのように対処するのか。                      (2) 「子育て全国一を目指す」ことを標榜するのであれば、子供らが遊ぶ公園の休止、廃止という方向性はあると考える。大島区に限らず、市内各所の農村公園について、どのような整備方針であるのか。</p>					市長
<p><b>3 ガス・上下水道施設における耐震・耐津波対策について</b>                      (1) 市は、ガス事業・水道事業の中期経営計画を策定し、ガス・上水道施設の耐震化等についても進めていると理解するが、以下の点について聞きたい。                      ア ガス事業においては、管路耐震化率が100%であると聞き及ぶが、耐震・耐津波対策上、課題はあるか。                      イ 水道事業においては、令和5年度末時点で水道管全体の耐震化率が73.8%と比較的健全な状態であるが、基幹管路の耐震適合率が全国平均を若干下回っている。引き続きどのような取組を行っていくのか。また、耐津波対策の現況も合わせて聞きたい。                      (2) 市は、下水道の耐震・耐津波対策を進めていると考える。管路施設、下水道センター等における耐震・耐津波対策、被災後の応急対応、復旧の指針と課題、今後の方向性について聞きたい。</p>					ガス水道 事業管理者
<p><b>4 春日山城跡整備について</b>                      (1) 春日山城跡の整備にあたっては、本来の姿である「土の城」復元を徹底して行うべきであるが、以下の点について聞きたい。                      ア 市はこれまで春日山城を「土の城」と表現してきたが、「土の城」とはどのような状態をイメージしているのか。                      イ 遺跡調査の状況はどうか。かつての廃城前の姿（建物を除く）は、把握しているのか。                      ウ 100余年前の大正時代の姿に戻すとされているが、その範囲を聞きたい。                      エ 植林された杉、低木等を皆伐すべきと考えるがどうか。                      オ 徹底した「土の城」という「他のどこにも見られない」威容を復元することこそ、観光客を吸引する原動力となると考えるがどうか。</p>					市長
					教育長
					教育長
					教育長
					教育長
					市長

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月28日

次のとおり通告します。

議 員 安 田 佳 世

発 言 の 種 別	質 疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span>	緊 急 質 問	討 論 (賛 成 ・ 反 対)
項 目 ・ 要 旨			答 弁 者
<p><b>1 若者世代・子育て世代の市民アンケート結果について</b></p> <p>(1) 令和6年度に実施した「若者世代・子育て世代の市民アンケート」の結果から明らかになった現状や課題をどう分析しているか。特に、出産や子育てがしやすいと思う割合が約30%減少していることについては、どう考えているか。</p> <p>(2) 今回のアンケート結果は、市の施策にどのように反映されるのか。</p> <p>(3) 出産や子育てについては、経験した人に対する調査や分析を更に深めることで、今後の施策への方向性が見えてくると考える。市は、どのように取り組んでいるか。</p>			市 長
<p><b>2 令和7年度予算編成方針と第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略について</b></p> <p>(1) 令和7年度予算編成方針に示されているとおり、物価や人件費の高騰によりあらゆる経費の増加が見込まれている。また、財政調整基金は財政計画における見込額を下回っている。非常に厳しい財政状況の中、「歳出の適正化」が求められるが、既存事業の改善、見直し、廃止については、どのような考えで判断をしていくのか。</p> <p>(2) 予算編成の基本方針の一つとして、第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を進めることとしている。戦略案の概要として4つの政策分野と5つの強化の視点が示されているが、令和7年度予算編成に当たっては、新規事業の実施や既存事業の拡充が検討されているか。財政状況が厳しい中での検討の方向性を聞きたい。</p>			市 長



# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月28日

次のとおり通告します。

議 員 本 城 文 夫

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
<p><b>1 ガス事業の今後の見通しについて</b></p> <p>(1) 人口減少や電力需要の増加を受けてガス販売量の低下を懸念するが、大口需要拡大対策をどのように取り組んでいくか。</p> <p>(2) 内部留保資金のおかげで健全経営だというが、ガス料金の適正化や一般家庭などの受益者負担の軽減対策はどのように考えているのか。また、国の補正予算による経済対策に加え、市独自の支援策を行う考えはないか。</p> <p>(3) 近年、他市ではガス事業の官民共同出資会社を設立し、ガス事業を譲渡する動きがあるが、当市はそのような懸念はないのか。</p> <p>(4) LNGの購入価格変動への対応と貿易価格など政府関係方面への要請活動はどのような現状にあるのか。</p> <p>(5) 脱炭素社会の実現にむけて、ガス業界では都市ガスのカーボンニュートラル化率を2050年に100%とする目標を掲げているが、市民への啓発はどのようにする考えか。</p>				<p>ガス水道 事業管理者</p>
<p><b>2 水道事業の今後の見通しについて</b></p> <p>(1) 人口減少で家庭や学校・事業所など有収水量が減少傾向にあるが、今後の管路の耐震化や、老朽化に伴う更新など施設整備の見通しはどうか。</p> <p>(2) 城山浄水場の大規模改修工事の進捗状況はどうか。</p> <p>(3) 水道における有機フッ素化合物、いわゆるPFASについて、環境省は水道法上の水質基準項目への格上げを検討しているが、当市における水質の状況はどうか。</p>				<p>ガス水道 事業管理者</p>
<p><b>3 小中学校敷地における借地料の改善について</b></p> <p>(1) 教育委員会所管の学校用地中、小学校では24校・中学校では6校が一部借地となっており、令和6年度は年間約3,000万円を予算計上している。市財政が厳しさを増す中で長期間にわたることから、これまでどのように改善策を検討してきたのか。</p> <p>(2) 借地の契約を更新する際、地権者との協議はどのように行われてきたのか。</p> <p>(3) 人口減少で児童数が減少している。適正配置の取組とともに借地の返還や市有地との交換、購入などを検討するべきではないか。</p>				<p>教育長</p>

# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月28日

次のとおり通告します。

議員 丸山 章

発言の種別	質疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span> 緊急質問 討論（賛成・反対）	
項目・要旨		答弁者
	<p><b>1 中山間地域等(13区)の総合事務所等の組織改編並びに13区に「〇〇未来創生スペシャルセンター」の設立について</b></p> <p>(1) 現状の行政運営を改め、効率的で効果的な地域振興を進めるため、13区の総合事務所の業務を縮小すると同時に、まちづくり振興会等を統合し、地域振興が力強く動き出せる新たな組織体制に変換させるための抜本の見直しを行う。当市の面積は973k㎡と広く、13区においては歴史的な風土や文化等が異なっていることから、共通する課題とそうでない課題が混在しているのが現状でありながら、合併して20年目に入ろうとしているにも関わらず、13区の地域ビジョンが策定されない異常ともいえる状態が続いている。現状の課題と問題点を整理しつつ、将来を見据えた有効な政策、対策を立て実行に移していかないことには、中山間地域が多く存在する13区の維持・向上・発展は見込めないことから、「〇〇未来創生スペシャルセンター」を設立すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>ア 組織の見直しが必要とする理由</p> <p>(ア) 総合事務所</p> <p>a 本来、行政は積極的に地域住民と結びつきを持ち、協働で地域の維持、向上、発展を導いていくことが大きな役割であるにも関わらず、現状は同じテーブルに着き、地域住民と一緒に未来創生に向けた地域づくりの具体的施策づくりに繋がっているとはいえない状況である。</p> <p>b 社会の変遷とともに、複雑化する地域の課題等の改善に向け、行政はその時々に応じた要請に答えて行くことが求められる。従って、旧態依然とした組織体制を見直し、一般事務、維持管理的な業務は、木田庁舎に編入させると同時に、市職員を新組織に出向させ、13区において地域と行政との協働による地域づくりを推進させる新たな組織体制を構築することが重要である。</p> <p>c 市民生活・福祉グループは、法定受託事務、福祉業務など、住民に関わる重要な業務を行っているため、支所に存続させる。</p> <p>d 建設グループ、産業グループは、道路関係、農林水産業関係等の地域住民に関わる重要な業務に対応することから、そのまま集約先支所(柿崎区、浦川原区、板倉区)に存続させる。</p> <p>(イ) まちづくり振興会等</p> <p>a 行政から多くの業務を受託している。</p> <p>b 現状は、設立の経緯や背景などを踏まえた目的に示されている業務に対応することで、手一杯の状況と思われる。また、まちづくり全体を見据えたビジョン等の策定については、限られた人員での策定は困難な状況といえる。</p> <p>イ 新組織立上げの必要性</p> <p>(ア) 地域づくりの原点は、地域に住んでいる人たちが、支え合い、創意工夫をしながら、地域の魅力等を高めるとともに、安心・安全に暮らし続けられる生活環境を整えることといえる。とりわけ、13区の多くの中山間地域</p>	<p>市長</p>

は、人口減少と高齢化に伴い人材不足に陥っていることは否めない。これらの課題を改善するための手段を考えないことには未来を描けないため、13区の二大組織といえる総合事務所の抜本の見直しと同時に、まちづくり振興会等を統合し、それぞれの利点を共有しながら効率的・効果的な地域づくりを推進させることが肝要である。また、少子高齢化が進んでいる中山間地域の多い13区の住民の期待に応え得るため、住民と行政の協働の下、地域ビジョン等の策定とともに、具体的な施策を実行できる機動性のある組織体制を構築するべく、地域の人材と行政職員の能力を活かすことを狙いとし、「〇〇未来創生スペシャルセンター」を設立させることが重要である。

a 組織機能・業務内容

- (a) 地域と行政の協働による地域づくりを推進する。
- (b) 地域ビジョン、戦略、戦術を策定する。
- (c) ワンストップ機能を持たせる。
- (d) 共通課題を共有し、地域づくりが効率的・効果的に推進できる体制にする。
- (e) 行政職員の持つ知見、知識等をまちづくりに活かす。
- (f) 少子高齢化が進行する中山間地域の大きな課題である人材不足の弊害を改善させる。
- (g) 若年層から高齢層に至るまで、安心安全に生活できる地域づくりを推進する。
- (h) 組織体制は、カのとおりである。

ウ センター設立のポイント

(ア) 13区では、人口が横ばい状態の区もあれば、人口減少、少子高齢化が顕著である区など、13区の状況は様々である。人口減少、少子高齢化が顕著の区をベースにして、「組織力の強化」「地域力の向上」「後継者不足の改善」「リスク回避」の4つのポイントに基づき、維持・向上・発展に導くための体制にすべくセンターを設立する。

a 組織力の強化

(a) 「チーム〇〇」の疎通を図りつつ、地域の課題等を洗い出しのうえ可視化し、地域ビジョンの作成はもとより、未来創生に向けたマネジメント力を高める。

b 地域力の向上

(a) 地域ビジョンを基に、市民・行政の協働により地域の維持・発展に向けた具体的な新たな施策の練り上げと事業実施を行い、地域の課題等の改善、解決に結び付けていく。

c 後継者不足の改善

(a) 町内会等各種団体の人材の高齢化の改善に向けて、住民、行政、アドバイザーとの協働により、魅力ある未来創生に向けた個々の団体の改善策を導き出す。

d リスクの回避

(a) 法律の遵守等の対応、国県等の補助(支援)金の活用については、行政職員の知見、指導は欠かせないうえ、効率的で効果的な地域づくりに向けた事業執行に導く。

エ 組織改編及び新組織の設立の意図

(ア) 福祉関係及び戸籍法等の身分に関わる業務を除き、直接市民生活に及ぼすことが少ない業務を整理しつつ、市民の期待に応え得る新たな機動的な組織体制を構築することが重要である。

(イ) 市民と行政職員の協働により、地域の維持、向上、発展に寄与する地域振興の具体的施策づくりと実行に向けた体制が欠かせない。

(ウ) 敏捷性の良い組織運営を構築し、地域住民が安心して生活できる環境に

<p>導く。</p> <p>(エ) 地域ビジョンの下、「〇〇未来創生スペシャルセンター」で提案する重要施策を市政に反映できるようにする。</p> <p>オ 現組織改編</p> <p>(ア) 現市役所集約先総合事務所3区を除く10区を市役所支所とする。</p> <p>(イ) 現市役所集約先総合事務所3区を市役所集約先支所とする。</p> <p>(ウ) 現まちづくり振興会等</p> <p style="margin-left: 20px;">a 新組織「〇〇未来創生スペシャルセンター」に移管する。</p> <p style="margin-left: 20px;">b 現職員は、そのまま新組織に移管する。</p> <p style="margin-left: 20px;">c 財産に関しては、現状の用途を遵守しつつ、地域づくりに活用する。</p> <p>カ 新組織</p> <p>(ア) 〇〇未来創生スペシャルセンター</p> <p style="margin-left: 20px;">a 組織形態</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 特定非営利活動法人（NPO）</p> <p style="margin-left: 20px;">b 設置場所</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 現総合事務所又は現まちづくり振興会</p> <p style="margin-left: 20px;">c 業務</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 主に地域振興、産業建設、教育・文化に関する事項を担う。</p> <p style="margin-left: 20px;">d 人事体制</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 理事長（代表）は現まちづくり振興会等の会長（非常勤）を充てる。</p> <p style="margin-left: 40px;">(b) センター長は市職員を充てる。</p> <p style="margin-left: 40px;">(c) 13区それぞれに、市職員を5名程度出向する。</p> <p style="margin-left: 40px;">(d) 区在住者から、2名程度任期付きで採用する。また、まちづくり振興会等の現職員をそのままセンター職員とする。</p> <p style="margin-left: 40px;">(e) アドバイザーを配置する。</p> <p style="margin-left: 20px;">e 財源</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 市の補助（助成）金</p> <p style="margin-left: 40px;">(b) まちづくり振興会財産</p> <p style="margin-left: 40px;">(c) ふるさと納税等による財源確保</p> <p style="margin-left: 20px;">f 期待される効果</p> <p style="margin-left: 40px;">(a) 高齢化が進み、人材不足が懸念される中山間地域の区において、行政職員が積極的に地域づくりに関わる体制を整えることで、市民の熱意が醸成されることが期待できる。</p> <p style="margin-left: 40px;">(b) 若者から高齢者まで、地域づくりへの関心を高めることが期待できる。</p> <p style="margin-left: 40px;">(c) 地域ビジョンに基づき、地域づくりに向けた有効な施策の展開や価値ある投資が期待できるうえ、有効な事例等については、各区へ波及できる。</p> <p style="margin-left: 40px;">(d) 地域づくりのアイデア、意見等を机上、現場等を通じてスピード感を持って対応できる環境が整う。</p> <p style="margin-left: 40px;">(e) SNS等を積極的に活用し、今以上の独自の魅力発信に繋げられる。</p>	
---	--

# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月29日

次のとおり通告します。

議 員 高山 ゆう子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論 (賛成・反対)	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
<p><b>1 放課後児童クラブについて</b></p> <p>(1) 共働き世帯が増加する中、現在国では「103万円の壁」撤廃について議論が進み、今後ますます放課後児童クラブは子どもたちや保護者にとって安全な居場所として重要度が高まっているが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 現在の児童クラブに登録している児童総数、児童数が多いクラブ名と児童数、職員数を聞きたい。</p> <p>イ 令和6年度より民間へ業務委託している児童クラブは、何か所あるか。また、民間委託した経緯、メリットとデメリットは何か。今後、更に民間委託を拡大する予定はあるか。</p> <p>ウ 令和6年度からの新規事業である、日曜、祝日試行開設している3つのクラブの利用状況と、夏休み中の昼食の配食サービスの利用状況を聞きたい。</p> <p>エ 当市における放課後児童クラブの課題は何か。</p>					教育長
<p><b>2 不登校児童に対するフリースクール等の連携について</b></p> <p>(1) 当市は、学びの多様化学校の設置方針を決定したが、やすづか学園の他、ここ数年様々なフリースクールが増えてきている。令和6年11月には県教育委員会主催でフリースクール等の事業者との情報交換の場が設けられたと聞けるが、不登校児童や生徒に関するフリースクールとの連携について、今後どのように考えているのか聞きたい。</p>					教育長
<p><b>3 公共施設のフリーWi-Fi整備について</b></p> <p>(1) 市内一部の公共施設には公衆無線LANが整備され、市民に利用されており、また災害時にも有効に使用できる利点を持っていたが、一方で本年9月末の光ステーションサービスの終了に伴いWi-Fiが使えなくなった施設がある。市民からはサービスの低下と嘆かれているが、今後も整備する予定はないのか。特にWi-Fiが使えなくなった施設のうち、市民の利用が多い「市民プラザ」と「ミュゼ雪小町」について聞きたい。</p>					市 長
<p><b>4 連たん地域の防火対策等について</b></p> <p>(1) 令和6年に入り、本町では複数棟を焼失する火災が続いている。本町6丁目の火元である元旅館は、火災から9か月経過し、未だそのままの状態地域から景観等への不安の声が出ているが、市として対処できないか。また、ここは数年前から空き家であり、本町2丁目の火元も空き家と聞けるが、連たん地域における空き家対策と冬期も含めた防火対策をどのように考えているか。</p>					市 長



# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月29日

次のとおり通告します。

議 員 伊 崎 博 幸

発 言 の 種 別	質 疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span>	緊 急 質 問	討 論 ( 賛 成 ・ 反 対 )
項 目 ・ 要 旨			答 弁 者
<p><b>1 妙高・斑尾エリアリゾート開発による影響について</b></p> <p>(1) 第二のニセコ化と言われ期待される部分はあるが、開発における上越市のデメリットについてどのように捉えているか。開発の波紋が上越市に及ぶ可能性について、市民の生活、自然環境や景観に対する負の影響（渋滞、混雑、マナー違反など）に対しての考えを聞きたい。</p> <p>(2) 外国人によるオーバーツーリズムが懸念されるが、特に日本人の国内観光への影響について、どのように配慮していく予定か。</p>			<p>市 長</p>

# 発言通告書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月29日

次のとおり通告します。

議員 平良木 哲也

発言の種別	質疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span> 緊急質問 討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨		答 弁 者
<p><b>1 柏崎刈羽原子力発電所について</b></p> <p>(1) 新潟日報社が令和6年10月24日に実施した独自調査では、原発の再稼働について信を問う手法で適当なのは、県民投票との回答が57.3%を占め、知事選は12.8%、県議会への提案は6.5%にとどまり、県民投票を行うことが県民の意思であることが明らかになった。このことに関する市長の認識はどうか。</p> <p>(2) 政府のGX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針によると、「エネルギー安全保障に寄与し、脱炭素効果の高い」原子力を「最大限活用する」としている。また、エネルギー基本計画によると、原発による発電量を最低20%確保するとしている。そして、令和6年9月6日の原子力関係閣僚会議では、「原発回帰」路線を明確にする中で、柏崎刈羽原発の再稼働への理解が進むよう政府を挙げて、更なる具体的な対応を行うよう指示し、再稼働に向けて前のめりになっている。こうした動きを、市長はどう見ているか。</p> <p>(3) 市長は、令和4年9月定例会において、「UPZ自治体に事前了解権は必要である」としつつ、「事前了解権を有する安全協定の締結を求めることは現時点では難しいと考える」とも表明している。しかし、再稼働に向けた動きが加速している現状において、必要性を認識しながら傍観することは無責任のそしりを免れない。UPZ内の他自治体に働きかけること、あるいは当市独自に東京電力との交渉を行うことなど、あらゆる手立てを講じて事前了解権を得る取組を進めるべきではないか。</p> <p>(4) 長岡市の磯田市長は、再稼働を巡る課題を主体的に整理し、良識ある見解を示している。中川市長は再稼働についてどのように考えているか。また、再稼働に関する課題をどのように整理し、市独自にはどのような施策を講じているか。</p>		市長
<p><b>2 こどもプール等について</b></p> <p>(1) 市内の都市公園に設置されている12か所のこどもプールは、令和6年度で運営を終了するとのことであるが、その理由と運営終了に至る経緯を聞きたい。</p> <p>(2) プール跡地の整備についての協議を含め、地元町内会とどのような話し合いになっているか。</p> <p>(3) 上越市子ども・子育て支援総合計画によると、「市は、子どもが自分らしく生きていくために、(中略)家庭環境を問わず、全ての子どもがのびのびと過ごせる居場所づくりなどを行います」とあるが、無料で利用できるプールの運営終了は、そのことに逆行するのではないか。基本的な考え方を聞きたい。</p> <p>(4) 同計画には、「子どもたちが自由に活動できる場を提供し、子どもたちがすこやかに成長できる環境づくりを進めます」とあることから、こどもプールの運営終了に伴って、それに代わる何らかの措置を執るのが当然であると考えますが、どのようにするのか。</p>		市長
<p><b>3 性的少数者の支援等について</b></p> <p>(1) 市民団体が令和6年11月2日に行った「レインボープライド市民パレード」</p>		市長 教育長

は、決して十分な参加呼びかけが行われたと言えない中、強い雨の中にも関わらず、市内外から 50 人を超える参加者が集い、性的少数者の存在と支援の訴えを PR する機会となった。このことは、市内に少なくない性的少数者がいること、また、その支援にまだ十分に手が回りかねていること、さらに、市民らが力を合わせて支援していく意欲が生まれ、行動に立ち上がりつつあること等を示している。そして、このような行動が、令和 6 年 2 月 1 日に開始したパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度をはじめとした様々な支援や、学校での性教育、市民向けの啓発活動（包括的性教育）を更に強めていくことが必要であることも示した。そこで、次の点について聞きたい。

ア 市長並びに教育長は、このパレードの成功をどのように捉えているか。

イ 当市の性的少数者に対する支援制度及び学校における性教育の状況、市民への啓発活動をどのように評価しているか。また、これらを今後どのように改善していく考えか。

ウ 性的少数者に対する支援の一つとして、“オールジェンダートイレ”の設置・増設が必要と考えるが、少なくとも公共施設には積極的に設置・増設する考えはないか。なお、その前提として、あり方の研究と検討が必要であるが、現在どのような検討がなされているか。



# 発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和6年11月29日

次のとおり通告します。

議 員 宮 越 馨

発 言 の 種 別	質 疑 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般質問</span> 緊急質問 討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨		答 弁 者
<p><b>1 直江津労災病院の閉院後の利活用問題及び上越地域医療センター病院の整備のあり方について</b></p> <p>(1) 労災病院の閉院後の利活用については、市が労働者健康安全機構から委譲を受け、コワーキング（テナント）病院として運営し、地域医療のニーズ（存続希望）に応えるべきであると考えているが、市としての対応策を聞きたい。</p> <p>(2) 上越地域医療センター病院の今後のあり方について、市の基本的な考え方及び今後の整備方針を聞きたい。また、歯科口腔外科を医療再編計画の一環として、先行して整備することとしているが、移行後（約2年後）同施設を除去整備することは、財政支出上市税の無駄遣いに当たる。合理的な理由を聞きたい。</p>		市 長
<p><b>2 中川市長の政治姿勢及び資質について</b></p> <p>(1) 議会から辞職勧告を出され、市民集会やアンケートなどでは多くの市民からも直ちに辞めてほしいとされているが、なぜ辞職をしないのか。特別なしがらみに縛られているのか。様々な背景を聞きたい。</p> <p>(2) 過日元市議が、中川市長が数々の不適切発言を繰り返す中、「高卒学歴の多くの市民らに『高卒がための劣等感・屈辱・人権・名誉など』市民に深い心の傷を与えた」と同時に「耐え難い屈辱を受けた」として、中川市長に対して名誉棄損の損害賠償を求めて新潟地裁に名誉回復の訴訟を起こした。これに対し市長は、争うとしているようだが、何をもって争うとしているのかを聞きたい。</p> <p>(3) 市長の重要公約である「雁木通りを世界遺産にする」「子育て日本一にする」「日本一住みよいまちにする」と言ってきたが、実績（全国比較）はどうであったか。公約軽視に当たらないか。また、副市長4人制は単にやる振りをしただけのことか。その真意を聞きたい。</p> <p>(4) 市長として市の発展のためにトップセールスを行うとしてきたが、これまでの成果を聞きたい。</p> <p>(5) 石破政権が誕生し、日本創生なかんずく地方創生が新たな国づくりの基本にしなければならないと地方分権の重要性を唱えているが、地方分権に根差した地方からの国づくりとして何か考えているかを聞きたい。</p> <p>(6) 具体的な政策と中川市政の過去3年間を総括するに、有言不実行的（公約実施は3割弱）な市政とリーダーシップの無さ（能登半島地震での対応など）が大きく市政発展の障害となっている。重責である市長職には無理があり相応しくなかったと断じざるを得ない。また、私との政策協定を拒否し続けている限り、まちの発展は叶わないが、協定締結の真意は何だったのか。単に私の力を利用し、選挙に勝たただけなのか。こうした不条理な考えが大きく市政の停滞を招いている。議会からの辞職勧告を受けた市長では誰からも信用されず、すべての市政運営に悪影響をもたらしているといっている。直ちに辞職をすることが最も市政発展につながるものと確信するが、所見を聞きたい。</p>		市 長